

クリスティーヌ・アモン＝シレジヨル

連続レクチャー「〈絵描き〉と舞台芸術」

Conférences de Christine Hamon-Siréjols
Professeur émérite de l'université de la Nouvelle Sorbonne, Paris III



10月8日(月)
18:30～21:00

早稲田大学
文学学術院
第4会議室
(39号館)

日本語通訳付
入場無料・予約不要

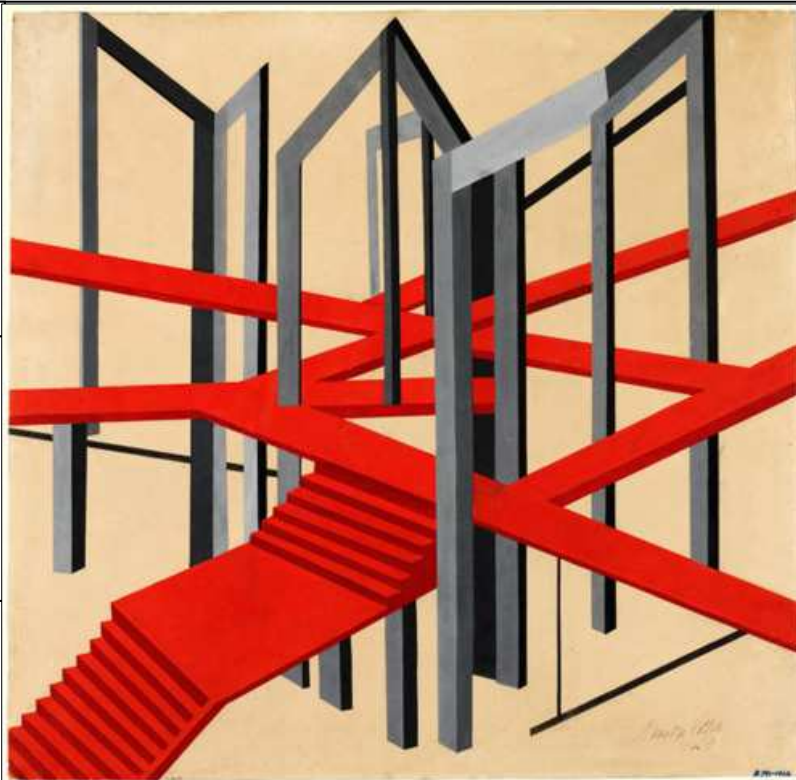
ナビ派のパリ
一八九〇～一九一四
絵画・版画・挿絵・舞台芸術

エドゥアール・ビュイヤール、ポール・セリュジエ、アンリ＝ガブリエル・イベルス、アンリ・リヴィエール……ポール・ゴーギャンに影響を受けた前衛的な絵画技法で、19世紀末から20世紀のアートシーンを席卷したナビ派の画家たち。斬新かつ装飾的な画面構成で、絵画のみならず版画や美しい挿絵本を手がけるなどジャンル横断的な活動をした彼らは、演劇人アントワーヌやリュニエ・ポーのもとで舞台美術にも関わったことでも知られる。ナビ派と当時の劇界の密接な連関の一例として、フランスの浮世絵師と呼ばれるジャポニズム画家リヴィエールとパリ劇界との協働にスポットをあてる。

Lundi 8 octobre, Salle de réunion 4, Bâtiment 39, *Les Nabis, peintres, graveurs, illustrateurs et collaborateurs des théâtres d'art à Paris (1890-1914)*

Lundi 15 octobre, Salle de réunion 2, Bâtiment 33-2, *Les plasticiens constructivistes au service de la Russie nouvelle : de l'utopie politique à la désillusion.*
Université Waseda, Faculté des Lettres, Campus Toyama ENTREE LIBRE

ユーリイ・アンネンコフ、エリ・リシツキイ、アレクサンドラ・エクステルは、新しき社会主義国家の確立を目指したロシア構成主義の芸術家たちである。演劇やダンスへの協働のみならず、挿絵本やポスター、家具などの日用品までも手掛け〈ロシア・アヴァンギャルド〉に貢献、のちにフランスあるいはドイツに移り、芸術活動を継続していく。画家、舞台美術家、イラストレーターとしての彼らの八面六臂の活躍を、豊富な画像等資料を使って紹介する。



ロシア構成主義 のユートピア 新しいロシア:夢と挫折

10月15日(月)18:30～21:00
早稲田大学文学学術院第2会議室
(33-2号館) 日本語通訳付

入場無料・予約不要

クリスティーヌ・アモン＝シレジヨル

パリ第三大学名誉教授。専門は、フランスとロシアを中心とした19世紀、20世紀舞台芸術、演出史。『演劇におけるロシア構成主義』(Le constructivisme au théâtre, CNRS)をはじめ著作多数。

問い合わせ先: 演劇映像学連携研究拠点事務局 Tel 03-5286-8515 Mail kyodo-enpaku@list.waseda.jp

主催: 演劇映像学連携研究拠点公募研究「19世紀末から20世紀前半のフランスにおける『絵描きの仕事』と舞台芸術界の美学的関連ならびに人的交流をめぐる研究」(研究代表者: 間瀬幸江)